

会 議 録

会議の名称	第14回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会合同会議
開催日	平成27年2月10日（火）
開催時間	午前10時から11時15分まで
開催場所	白岡市役所庁舎 4階 会議室404
会長の氏名	秋葉清一郎
出席者（出席委員）の氏名・出席者数	高橋直樹、明野真久、細井将司、鶴岡洋（代理 金川新吾）、高原昭、佐々木操、市村春樹、折原茂幸、浅野悦子、長谷川博、荷見雄二、橋井公治、宮崎信二、斉藤正美、尾崎晴男、中川幸廣、秋葉清一郎、島田道太、菅原清孝 19人
欠席者（欠席委員）の氏名・欠席者数	神山邦夫 1人
説明員の職・氏名	市民生活部 部長 野口仁史 地域振興課 公共交通推進室 室長 大谷昌司 地域振興課 公共交通推進室 主査 千葉智則 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊
事務局職員の職・氏名	市民生活部 部長 野口仁史 地域振興課 課長 鬼久保晃一 地域振興課 公共交通推進室 室長 大谷昌司 地域振興課 公共交通推進室 主査 千葉智則 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊
その他会議出席者の職・氏名	傍聴2名

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 会議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運行業務に係る利用状況の中間報告について (2) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運行業務仕様書（案）について (3) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領（案）について (4) その他 4 閉会
<p>配布資料</p>	<p>会議次第 会議資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運行業務に係る利用状況の中間報告について 2 「のりあい交通」実証運行から見えた課題と本格運行における運行内容の変更について 3 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書（案） 4 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領（案） 5 白岡市のりあい交通 利用者アンケート

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 野口市民生活部長の進行により会議が開会した。
秋葉会長	2 挨拶 秋葉会長から挨拶が行われた。
事務局	3 会議事項 (1) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運業務に係る利用状況の中間報告について 事務局から資料に基づき説明が行われた。
秋葉会長	(質疑) 事務局の説明について、質問等があればお願いしたい。
A委員	小さい市や町では、デマンド交通の乗合率が低いと聞いているが、白岡市では乗合率はどれくらいか。
事務局	現在は情報が無いため、正確な数字をお答えできない。
A委員	のりあい交通の登録を済ませたが、利用していない人の数はどれくらいか。
事務局	12月末時点での登録者は、2,051人であり、利用者が333名となっているため、1,718名が利用していないことになる。
A委員	利用者数が人口に対して低い数字であることと、利用頻度が半月に1回が多くなっていることから、費用対効果の観点から、今後、タクシー券による補助についても議論していただきたい。

B委員	時間帯別利用状況にある、不成立とは何を示すか。
事務局	予約センターに電話をしたが、他の人の予約状況により、利用予約できなかったことを示すものである。
C委員	資料は、予約の記録をまとめているようであるが、予約をしてから、実際に利用しなかった人を含めるとどうなるのか。
事務局	これまでの3か月間の利用状況では、未乗車の方は1か月につき2、3名程度となっており、資料と実情がかい離しているとは考えていない。
D委員	利用者が乗車している時間は、どれくらいか。
事務局	移動時間のデータは集計していないため、資料1の10ページから12ページの利用状況を参考にしてほしい。
D委員	3か月間の運行売上はどれくらいか。
事務局	運行収入と回数券の売上は63万7200円となっている。
秋葉会長	他にはないか。質問がないようなので、白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運業務に係る利用状況の中間報告については、原案のとおりでよいか。
全委員	異議なし。
事務局	(2) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運業務仕様書(案)について 事務局から資料に基づき説明が行われた。
秋葉会長	(質疑) 事務局の説明について、質問等があればお願いしたい。

D委員	資料2の方向性に、検証期間が短いという記述があるが、それであれば、交通事業者として今回の契約期間が3年間というのは、長いのではないか。
事務局	アンケートの結果や利用状況を確認して反映できるものは、10月から変更したい。契約期間は、3年であるが、変更する必要があるらば、変更契約により対応していきたい。
E委員	契約期間は3年間となっているが、これは長期継続契約か。
事務局	そうしたいと思っている。
E委員	何を基準として、期間を3年間としたのか。
事務局	運行に係るシステムのリース期間等を考慮して3年間とした。
E委員	資料3の7ページ(キ)に、データの引継ぎが可能であることとあるが、どのメーカーの会社でも可能であるのか。
事務局	可能である。
E委員	プロポーザルは、公平・適正に実施して、事業者が競争した後に選定してほしい。
秋葉会長	他にはないか。質問がないようなので、白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス実証運行業務仕様書(案)については、原案のとおりでよいか。
全委員	異議なし。
事務局	(3) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領(案)について 事務局から資料に基づき説明が行われた。

秋葉会長	<p>(質疑)</p> <p>事務局の説明について、質問等があればお願いしたい。</p>
F 委員	<p>資料4の2ページ(2)では、白岡市の市税を滞納していない者とするところがあるが、市内の事業者でなくてはならないのか。</p>
事務局	<p>他市町村の事業者の場合は、事業所の所在地のある自治体の市町村税が滞納されていない場合とする。また、文言は訂正させていただく。</p>
E 委員	<p>資料4の1ページ7に予算規模とあるが、この金額は入札の段階で公表するのか。</p>
事務局	<p>公表する。</p>
E 委員	<p>事業者選定の時期はいつになるか。</p>
事務局	<p>3月上旬に審査委員会を行い、3月中旬に開催予定の第15回会議で正式に決定する。</p>
E 委員	<p>白岡市の平成27年度の予算の決定はいつになるか。</p>
事務局	<p>3月23日を予定している。</p>
E 委員	<p>予算が決定する前に、事業者を選定してよいのか。</p>
事務局	<p>本格運行の準備行為として運行事業者を選定するものである。これまで、本事業については、丁寧に議会に説明してきた経緯がある。事業者の選定についても慎重に調整させていただく。</p>
E 委員	<p>プロポーザルの周知方法はどのようにするのか。</p>
事務局	<p>市公式ホームページ、広報紙、説明会で周知する。</p>

秋葉会長	<p>他にはないか。質問がなければ、白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領(案)については、指摘事項を追加・修正した上で公募型プロポーザルを実施することとしてよいか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
事務局	<p>(4) その他</p> <p>白岡市のりあい交通利用者アンケートについて</p> <p>追加配布した資料は、1月31日付けで利用者に投函した。發送人数は、357名となっており、これまでに270名から回答をいただいた。</p> <p>アンケートの結果を基にして10月からの運行内容の見直しの協議をしたい。</p>
事務局	<p>第15回会議の日程について</p> <p>次回は、3月19日(木)の10時から開催としたい。プロポーザルの実施結果を報告する予定である。</p>
佐々木副会長	<p>4 閉会</p> <p>佐々木副会長から挨拶が行われた。</p>